

2福イ第3898号  
令和3年3月23日

緩衝ネット付飛行場  
使用者手引き  
(第1版)

福島ロボットテストフィールド  
令和 3 年 4 月 1 日

改訂履歴

版	施行日	内 容	作 成
1	令和 3年 4月 1日	新規作成	技術課 副主任 菊地 康仙

# 目 次

1	施設概要 .....	1
	(1) 設置位置 .....	1
	(2) 主要諸元 .....	1
	(3) 主要設備 .....	1
	(4) 写 真 .....	2
	(5) 建設図面 .....	2
2	各種設備について .....	3
	(1) 緩衝ネット昇降操作 .....	3
	(2) 照明設備 .....	4
3	利用上の注意 .....	5

# 1 施設概要

## (1) 設置位置



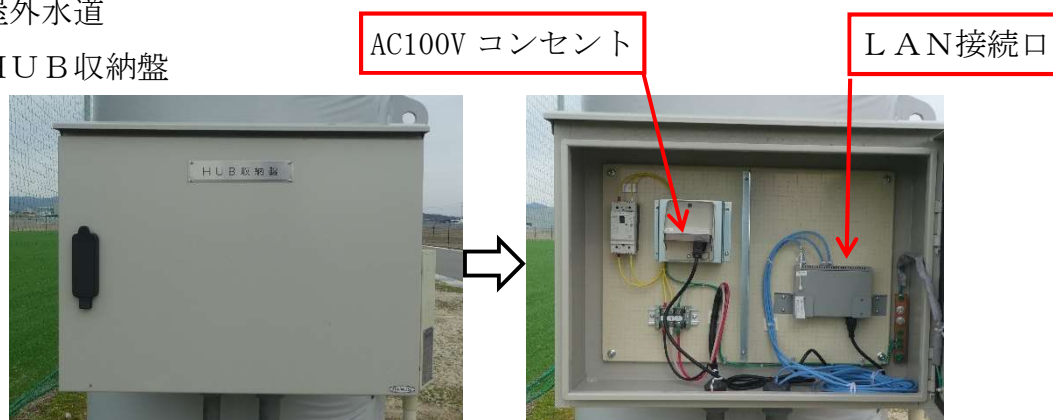
緩衝ネット付飛行場設置位置

## (2) 主要諸元

- ア 本体：150m×80m×有効高さ15m（人工芝舗装）
- イ 支柱：鋼管φ800mm×高さ20m、24本
- ウ ネット部：高強力・高耐候ポリオレフィン（φ2.4×120mm目）  
電動による自動昇降

## (3) 主要設備

- ア 緩衝ネット（電動により昇降可）
- イ 照明設備
- ウ 屋外水道
- エ HUB収納盤



(4) 写真

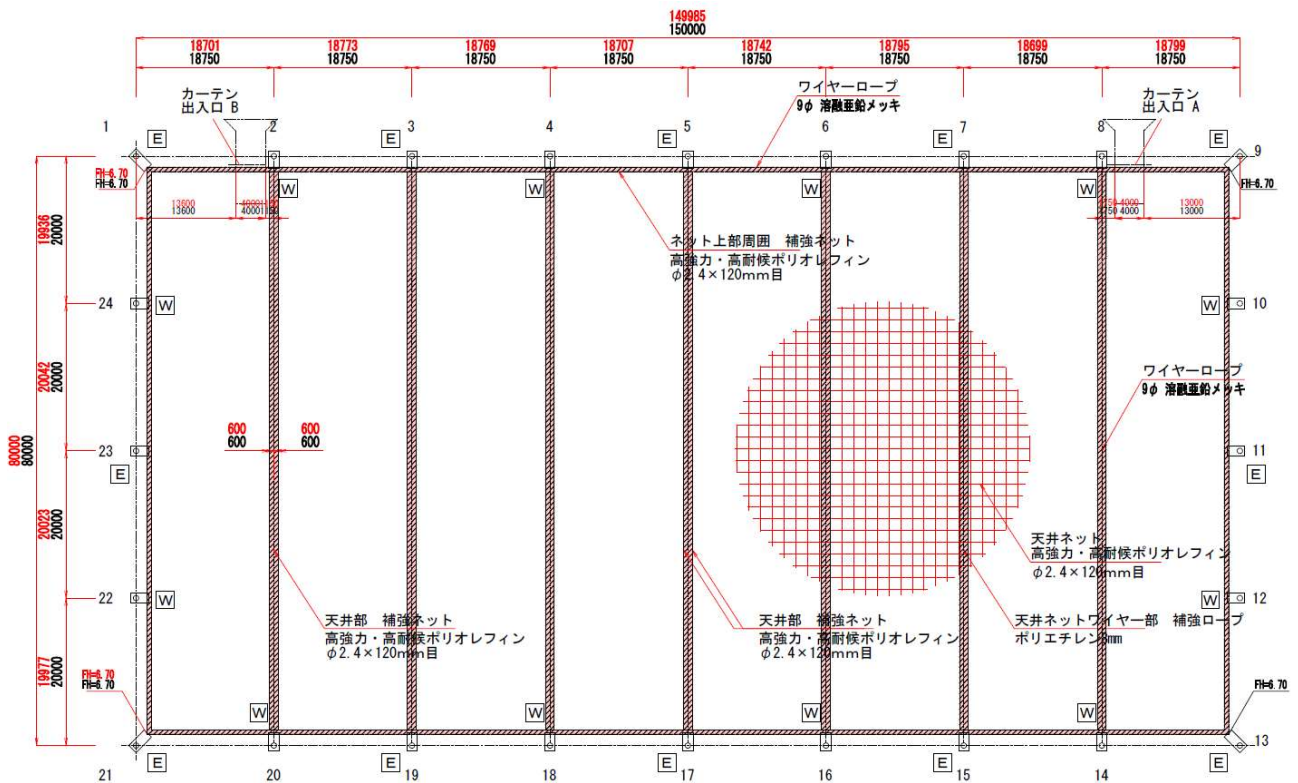


緩衝ネット付飛行場外観

電灯電源盤  
ネット集中制御盤

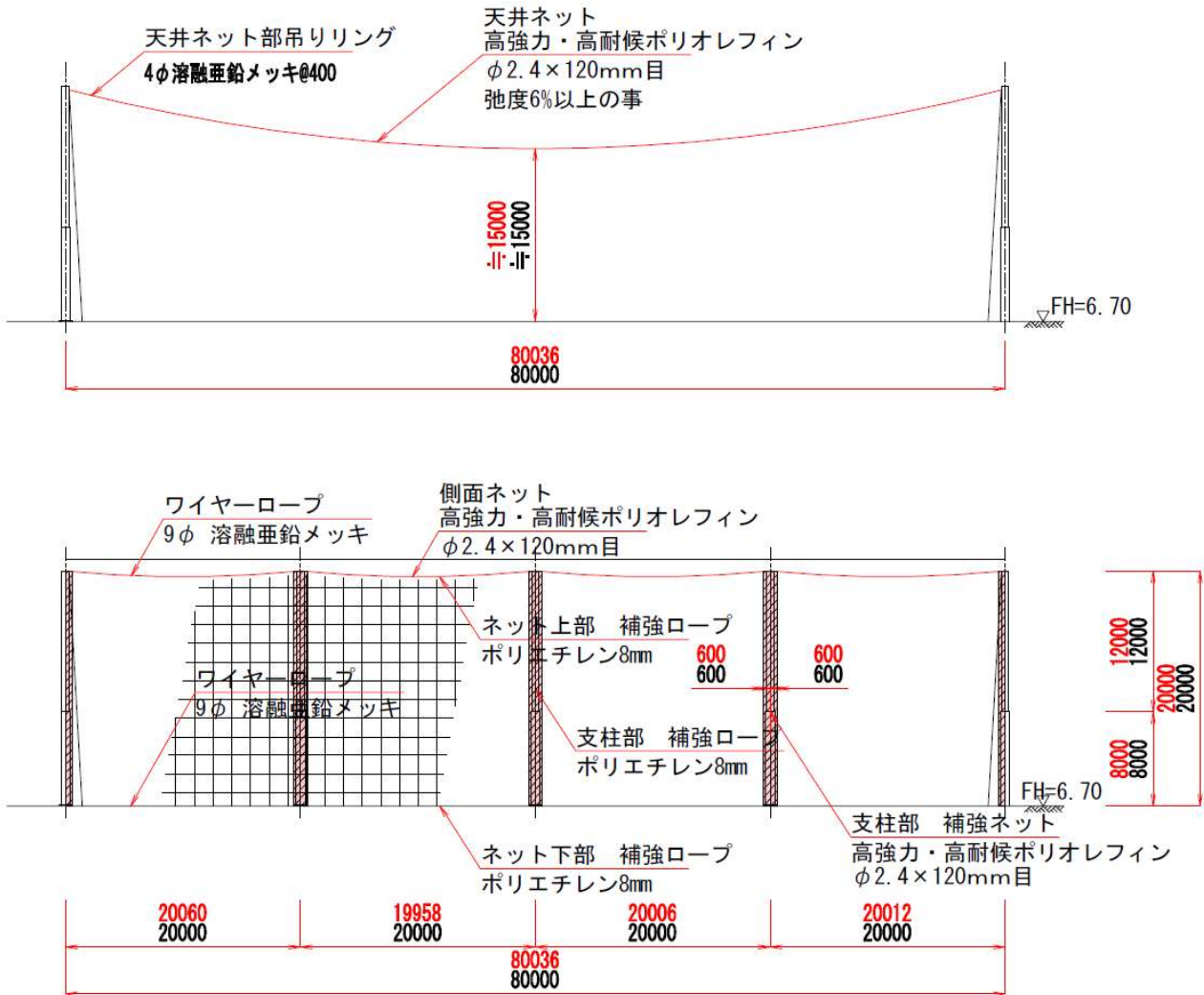
(5) 建設図面

ア 平面図



※赤字は、実測値

イ 断面図



※赤字は、実測値

2 各種設備について

(1) 緩衝ネット昇降操作

ア 上昇

(ア) 緩衝ネットと干渉するものがないことを確認する。

(イ) ネット集中制御盤の操作

a 「手動一切自動」スイッチを手動の位置にする。

b 「上昇」ボタンを押すと緩衝ネットが上昇を開始し、既定位置まで上昇すると、自動で停止する。

c 上昇を途中で停止させる場合は、「停止」ボタンを押す。

d 上昇停止後、「手動一切自動」スイッチを自動の位置にする。

設備を保護するため、平均風速が15 m/sを超えると、自動で緩衝ネット

が下降する。



ネット集中制御盤

#### イ 下 降

- (ア) 緩衝ネット付飛行場内が無人的であることを確認する。
- (イ) 緩衝ネットと干渉しているものがないことを確認する。
- (ウ) ネット集中制御盤の操作
  - a 「手動一切ー自動」スイッチを手動の位置にする。
  - b 「下降」ボタンを押すと緩衝ネットが下降を開始し、既定位置まで下降すると、自動で停止する。
  - c 下降を途中で停止させる場合は、「停止」ボタンを押す。
  - d 下降を途中で停止させた位置で保持する場合は、「手動一切ー自動」スイッチを自動の位置にする。
  - e 既定位置まで下降し停止した後、「手動一切ー自動」スイッチを切の位置にする。

#### ウ 注意事項

- (ア) ネット集中制御盤の蓋は、操作時以外は閉じること。
- (イ) 緩衝ネット昇降中に異常を感じた場合は、「停止」ボタンを押し、異常の原因を確認するとともに福島ロボットテストフィールド職員へ通知すること。

#### (2) 照明設備

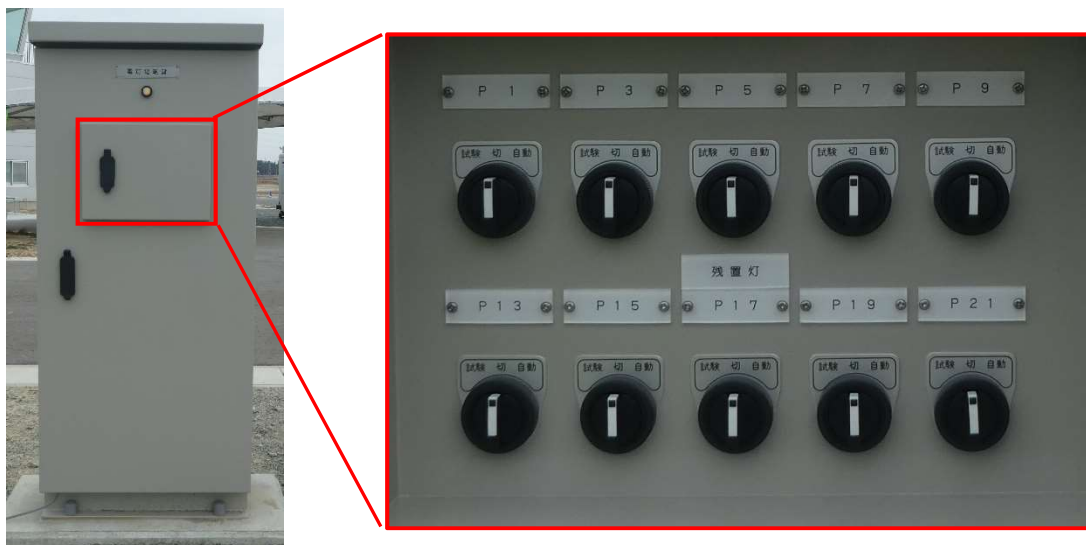
##### ア 操 作

#### (ア) 点 灯

電灯電源盤の「試験一切ー自動」スイッチを試験の位置にすると、スイッチに対応した照明が点灯する。

#### (イ) 消 灯

電灯電源盤の「試験一切自動」スイッチを切の位置にすると、スイッチに対応した照明が消灯する。



電灯制御盤

#### イ 注意事項

(ア) 電灯制御盤の蓋は、操作時以外は閉じること。

(イ) 使用中に異常を感じた場合は、「試験一切自動」スイッチを切の位置にするとともに福島ロボットテストフィールド職員へ通知すること。

### 3 利用上の注意

(1) 貴重品や各自の荷物は使用者の責任で管理し、紛失、盗難に注意すること。

(2) ヘルメットは常時装着すること。

(3) 関係法令等及び福島ロボットテストフィールド共通使用規約を遵守すること。